



地方創生SDGs 国際フォーラム2022 <総括>

政府主導による地方創生SDGsの取組は順調に進展し、
SDGsを導入する自治体の割合は50%を超え、
普及促進の段階から取組の一層の深化を求める時代に入った。





**地方創生SDGs
国際フォーラム2022
＜総括＞**

**ベストプラクティスとしての「SDGs 未来都市」は120を超え、
「官民連携プラットフォーム」に参加する自治体会員は1000、
企業会員は5000を超え、地域行政と産業を結ぶ
全国的ネットワークに成長した。**

**SDGs に活発に取り組む地域の企業や金融機関等を登録／認定し、
見える化する制度も運用されている。**






**地方創生SDGs
国際フォーラム2022
＜総括＞**

アフターコロナの時代を迎え、持続可能な社会の一層の強化に向けた「グリーン」や「デジタル」等のキーワードで代表される新たな活動が始まった。

グローバルな合意としての脱炭素に関して、自治体に対しても脱炭素の努力が求められており、経済・社会・環境の3側面の取組のシナジー効果に期待するグリーンSDGsの取組が進展している。







地方創生SDGs 国際フォーラム2022 ＜総括＞

人口減少等によりその劣化が懸念される日本の自治体にとって、デジタル技術の活用はコミュニティの機能保全や活性化に欠かせないものである。

デジタル自治体への転換に向けて、社会変革のツールであるSDGsの枠組みが活用されている。





地方創生SDGs 国際フォーラム2022 ＜総括＞

地方創生に貢献するこれらの幅広いSDGsの取組は
世界に例を見ないものである。

日本の自治体で達成された優れた取組や経験を世界に発信し
世界で共有することは、グローバルなレベルでの自治体SDGsの
進展に貢献するものである。

